



園部共同作業所 だより

園部共同作業所発行

〒622-0011
京都府南丹市園部町上木崎
町入道32
電話0771-62-3249
FAX0771-62-3241

| NO 95

一二十三年間お世話になりました

私が園部共同作業所にお世話を過ぎました。当初は下請け作業所や福祉関係に皆無のところ、まさに暗中模索の日々でした。メンバーサンへの対応はあれで良かったのかと自問自答する毎日、そんな時、当時は保健所へ出向いていつての行事も多く、その時「新しい指導員さんはどう?」の問い合わせにメンバーサンのひとりが「作業所のお母ちゃんみたいな人や」と言つてゐるのを耳にしました。そうだと難しく考えず作業所のお母ちゃんになれたから:と思つたら少し気が楽になりました。それから皆さんと共に作業や行事に参加する中でいろんな経験をさせていただきました。作業の他にメンバーサンの家庭訪問もしました。その一人目は何でも真面目にやるHさん、彼女を訪ねると、うれしそうに迎えてくれました。中を見ると窓側には隙間なく服が吊られ明かりも風もふさがれています。テレビも本来の役目を果たせず物置きと化し、どこで食事をするのか、炊事場の床は何色なのか想像できない程、これはもうお母ちゃんの出番です。その日は気合いを入れて出掛けました。とに角不要品を処分するのが先ですが、たばこのヤニでベタベタの衣装箱の

物衣類があちこちに、淡い色の衣服が一杯であふれた夏物・冬服は茶色に変色してしまっています。押入で見つけた沢山の洗剤や漂白剤はいつ使ってもらっているのかと、ひとり笑つてしましました。何とか説き伏せ不要品は処分し、どうにか片付けたらいつの間にか夕暮れになつて慌てたものです。又Mさん宅は親御さんから保健所に「お盆までに片付けたいが手がつけられない」と要請があり、四名でお助けマンとして出勤、Mさんの部屋を開けるや襖によりかかるつていたゴミがバサリ、ある程度覚悟はしていたが：「もうやるしかない」とゴミの山に向かつて突進、ジユースの空き缶、溶けかけのアメやチョコ、洗つてない汗のついで衣類、おまけに化粧品の臭いが混ざり：終わるころには私達の鼻はマヒしていました。迎えに来てくださった保健所の車に乗つた途端「すごい臭いやな」とあわてて窓を開けられたのだけは覚えています。後で聞いたらゴミは軽トラック五台分、空き缶は二キロのゴミ袋三つはあつたと：衣類の始末や不要品の処分等は意外と大変なのだと思つたものです。おかげで私は少々のゴミでは驚かない免疫力をもつらいました。

そうめんの販売お詫

ご協力ありがとうございました



お付き合いした事が私に大きな力をもらっていたと今改めて思い出されます。

八月七日をもって退職いたしましたが、その間、杉山所長様始め関わらせていただいた皆様にはご指導いただいた事に感謝して支えてもらつた事に感謝して厚くお礼申し上げます。充実した二十三年間をありがとうございました。

九月八日

海水浴
由良（雨のため水族館
見学）

行事・レクレーション

六月九日 みーちゃんカレー

八月七日 黑田先生送別会

黒田先生送別会

みーちゃんカレー
(サツマイモカレー)

寄贈品（平成二十六年六月九月現在）

月九月現在

卷之三

あさー電子業

ナイギー一箱

あたご曾子様
黒田トキエ様
南丹看護学院様
島原そめん様
お菓子
お菓子
そめん

兒島 美由紀

様
サツマイモ

寄付金

黒田トキ工様
南丹市チャリティゴルフ実行委員会様

ありがとうございました。

し上げます。通
所の皆さんに待
望のボーナスを
支給でき喜んで
おります。



園部共同作業所での実習に参加して

公立南丹看護專門學校

卷之二

上田　景子

実習で園部共同作業所に行かせてもらい、通所さんから、作業の仕方を丁寧に教えてもらいました。また、通所者さん同士で作業を確認し合ったりして助け合う姿や、きばきと作業をされる姿、楽しくお話ししたりして明るい雰囲気を作つておられる姿を見ることができてとても素敵だと思いました。

また、明るい中にも病気と向き合つて、社会復帰を目指して頑張つておられる様子も見られ、応援したいと思いました。

みなさん、私達実習生を受け入れて下さつてありがとうございました。

今回実習で初めて共同作業所でされている仕事を一緒に体験させていただいて、楽しくんで体験することが出来ました。利用者さんとも色々なお話しをさせていただいて作業所で働くことを楽しみにされていましたり、旅行などの年間行事にも参加されたりと、働く場だけではなく、人との交流なども大切にされているのだと利用者さんの思いを聞かせていただけました。

一日だけの体験でしたが、色々なお話を聞かせていただきありがとうございました。

三月下旬からフェリシモさんのお仕事をしていました。今回は八ミリ角の土台のガラスにはハートの模様の入った小箱がつた方を中心に入れを放射状に載せて、それを大きな電気窯で焼くとその作業は主に三人、五名のメンバーで担当りました。私は土台のメタルとなるガラスを人ミリ角にカットするのと、そのカットしたガラスの四角をほんの少しだけ落とす作業をしました。前者は責任者の泰佑さんのされた方法です。泰佑さんは早く、沢山できるのです。ですが、そうすると私の体のリズムをオーバーしまして、早く息切れを起こします。でも程で起きない事もないのです。程早くしたところ、泰佑さんは「こんなに早くできると思わなかつた、嬉しかつた」と思つたのです。疲れきつた後二〇分程度横になたつた。ガラスを切る鉄の名前をした所、うまく出来ない様な工夫をしました。



八月八日（金）台風が少しつづ近づいて来ていま、こたが、また雨が降つていなかつたので、予定通り、海水浴へと出発しました。海に近づくにつれ、雨が降り出し風も出てきて波も荒くなつて来ました。浜茶屋で昼食をとり、海水浴はとりやめ、急きよ近くの水族館「魚つち館」を見学する事になりました。一時間半ほど見学し、途中、和知の道の駅で恒例のソフトクリーミムをいただきすこし早めの帰途に着きました。今年、水着を買つた高屋さんと小森さん残念でしたが、台風には勝てませんでした。来年は泳ぐぞ。

中止になつた海水浴



糖尿病になりました。親・兄弟の遺伝的な問題も無く、運動は一年間マラソンをしている。糖尿になる理由がわからん。不思議だと医師は首をひねつていました。

しかし、朝に食後の薬が出ました。この薬を飲めばランニング後低血糖を起こして倒れるからランニングは中止です。それでランニングがウォーキングにかわりました。これで日吉ダム周辺をランニングで四六分のところ二時間かかるのです。

医師は一度にそんな長い距離を歩かなくて毎日二、三キロメートル歩いてください。

でもこの実行もなかなか大変なので。日常生活はさほどかわっていなに、糖尿になるんて、やはり歳なのでしようか。身體もだるくて一日シヤキシヤ

